

2023年度 学校法人 三幸学園 名古屋リゾート&スポーツ専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 小久保 和紀

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

前年度重点施策振り返り

○教科担当とのリレーション強化

・情報の共有化や2WAYのコミュニケーション、上下の垣根を撤廃しゴールイメージの共有化を目指す

振り返り:

・情報の共有化を図るために発信をしていたものの伝達ツールの閲覧が不足し、うまく共有できないこともあった。
・全体会議や学科会議等のゴールイメージを共有化する機会の出席の促しが不十分で全員参加には至らなかった。

○次週の授業が楽しみでもっと学びたいと思える授業展開の実施

・学ぶ環境を整える、学ぶ内容に差を生まないために統一した指導と授業計画書の網羅が必要
⇒授業ガイダンスを実施し、授業評価や授業内容を初回授業にて生徒伝達する

振り返り:

・ガイダンスを実施したものの教科ごとに量の差が出てしまいガイダンスの質に差を生んでしまった

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・各学科の人材像が講師の先生方へ浸透していない
・変化の多い業界のニーズに合わせた人材育成像になっていない可能性がある（SNS等のカリキュラム編成）

② 今後の改善方策

- ・全体会議の中での学科会にて随時共有していく
- ・2025年度にカリキュラム再構成実施予定

③ 特記事項

- ・2025年度から大幅なカリキュラム変更を実施する

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・システム導入期のため業務の浸透がされていなく効率化はされなかった
- ・Sankogate の生徒定着はしてきているが、有効活用まで至っていないことやアンケート取得率向上の結果が出ていない。それに伴い事後のフォローをする業務が発生してしまい業務の効率化ができてない。

② 今後の改善方策

- ・使用頻度を増やすことで職員全員が使用ツールの理解度を深めていく(マニュアル)
- ・アンケートがいつ発信されるか職員も生徒も把握することで効率化を図る
- ・可視化できるツールも活用し、生徒が自分で気づくことで業務の効率化を図る

③ 特記事項

- ・特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・カリキュラムの作成と見直しは科目によって様々となっている。業界団体以外のカリキュラム見直しは講師等校内で完結してしまっている状況。
- ・ボランティア等課外活動への参加率が低く校外での職業教育が十分にされていない
- ・任意研修の職員参加率が低くその原因は日程が授業と被ってしまい参加できていない

② 今後の改善方策

- ・教育課程編成委員会や産学連携で業界関連企業でのヒアリングを実施する
- ・職員が積極的な企業訪問で業界の魅力理解や魅力のある企業の新規開拓をする
- ・研修を受けてきた人より内容を共有して未参加者の研修意欲を高めていく

③ 特記事項

- ・全体会議にて職員向けの授業力向上の為の取り組みは実施している

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・既存で関わっていただいている企業への就職者が多く新規での企業開拓ができていない
- ・卒業生向けの SNS 発信はしているものの登録者数や閲覧数が増えずに伸び悩んでいる

② 今後の改善方策

- ・生徒のニーズを把握した新規企業開拓と定期的な訪問を実施する
- ・定期的な配信をすることで常にリアクションを見ていく事と、より有益な情報発信をしていく

③ 特記事項

- ・2024 年度キャリア教育のテキストの変更

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・卒業生の現状把握ができておらず求めている支援内容が把握できていない。
- ・独立支援など支援している内容の理解がなされていないので活用されない

② 今後の改善方策

- ・卒業後の支援内容が明確になっておらず支援内容を把握するための会を開催する
- ・卒業後の情報発信ツールを浸透させていく

③ 特記事項

- ・特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

- ・インターンシップの希望が100%生徒の希望通りとはいっていないため、多くの企業様やチームへ本校の教育理解をしてもらう事が必要
- ・海外研修において価格の上昇に伴い参加者が集まらない

② 今後の改善方策

- ・企業様へ訪問し、本校の理解をってもらう事と受け入れ先のメリットを擦り合わせることで実習のより良い受け入れをもらう
- ・適切な価格で提供するためにアメリカだけでなく時期や地域等外的要因とし大きな影響がない地域も検討する

③ 特記事項

- ・警察の方にお越しいただき、「さすまた」の使い方を教えていただいた。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・入試方法について専門学校より高校への周知が不足している

② 今後の改善方策

・入学相談室と連携を取り高校との関係性を深め入試方法の理解促進を進める

③ 特記事項

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3次中期計画(2023 年度～2027 年度)の初年度であり、ホームページ上に公開している。今後は当該計画の達成状況等についても公開予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・特になし

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・外部での教育の成果は発表できたものの学校施設を使用した社会貢献を十分にされていなかった
 ・地域に対する公開講座において情報伝達が十分にされていなかった

② 今後の改善方策

・公開講座を行う際、学校施設を使用し幅広く告知の実施をする
 ・地域の会合等がある際、教室の貸し出しを実施する

③ 特記事項

・特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

お話いただいて、より具体的にこれをやってみたいということがあがった。学園全体で動いているところはずでに実施予定もあり、その結果は数値的部分での報告や「最近リゾスポの生徒達が地域貢献をしているよね。」といった声がみなさんに届けられるような活動をしていけるようにしていきたい。来年度のこの機会の際には、活動報告をできればと思っている。2024年度に実施した内容がどのようになったのかということもお話できればより新たな施策等のお話にも繋がると思いますのでそのようにできればと思う。